

【基本方向11】文化・芸術活動の推進

施策項目	35 芸術文化活動の推進 36 文化財の保存・活用	第2期 教育振興 基本計画 基本施策 との対応	2 豊かな心の育成 14 優れた才能や個性を伸ばす多様で高度な学習機会等の提供 20 絆づくりと活力あるコミュニティの形成に向けた学習環境・協働体制の整備推進	評価
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年10月に「アートギャラリー北海道」展開方針を決定し、同方針により構築した美術館ネットワークにより、道内美術館及び収蔵作品を紹介する企画展や、道立美術館と道内美術館が連携してPR活動やイベント等を計画 芸術鑑賞等の文化に触れる機会の充実を図るため、学校の授業で活用できる鑑賞学習支援ツールとして道立美術館「アートカード」を作成し、学校に提供 道民の共有財産である文化財の保存・活用のため、文化財パトロールの実施、世界遺産登録に向けた取組の推進、「ほっかいどう子ども民俗芸能振興事業」等を実施 			計画どおり

施策項目 35 芸術文化活動の推進

—●—目標値（太字） %…進捗率
■…実績値

指標の状況	①道立美術館・芸術館等の入館者数（人）	H29目標 70万人	参考指標 (a) 美術館ボランティア数（延べ人数）（人）	参考指標 (b) 北海道立美術館キャンパス・パートナーシップメンバー校数（大学）
	<p>〈道立美術館・芸術館〉 133.9%</p> <p>900,000 800,000 700,000 600,000</p> <p>H25 H26 H27 H28 H29</p>	<p>16,000 15,000 14,000</p> <p>H27 H28 H29</p>	<p>20 10 0</p> <p>H27 H28 H29</p>	
施策の推進状況	【Plan】平成29年度の主な施策		【Do】主な実績	
	■芸術文化活動の促進		<ul style="list-style-type: none"> 高等学校文化部活動への外部指導者の派遣（138校、190部） 北海道文化団体協議会の活動への支援（道民芸術祭約17,000名、国民文化祭1団体派遣、国際交流事業27名参加） 北海道文化財団の活動への支援（文化交流事業55名参加） 	
	○学校における芸術に関する教科指導の充実や、文化部活動への支援			
	○地域の特色を活かした芸術文化活動の充実			
■芸術鑑賞等広く芸術文化に接する機会の充実		<ul style="list-style-type: none"> 北海道巡回小劇場の開催（27市町村、6,013名鑑賞） 文化芸術体験事業（文化庁主催）の実施（巡回事業：20市町村、8,426名鑑賞）（派遣事業：19市町村、5,877名鑑賞） 北海道文化財団が行う芸術鑑賞事業への支援（52事業） 札幌交響楽団の活動への支援（126公演、142,546名鑑賞） 		
○学校における文化芸術体験の充実				
○優れた芸術鑑賞機会の提供				
■芸術文化環境の充実		<ul style="list-style-type: none"> 美術館のない市町村での移動美術館の実施（2町、入館者数、1,418名） 美術館と学校が連携した教育普及事業の提供（出張アート教室（14校）等） 美術館における学校の長期休業中等の芸術体験事業の実施（ワークショップ、工作アトリエ等、2,974名参加） 美術館ボランティアの活用促進（参考指標(a)） 大学との連携による学生の美術館の利用促進（北海道立美術館キャンパス・パートナーシップ制度）（参考指標(b)） 学校の授業で活用できる鑑賞学習支援ツールとして、道立美術館「アートカード」を作成 「アートギャラリー北海道」展開方針を決定、美術館のネットワーク化に向け、道内美術館等を対象とした説明会を全道5会場で開催し、70施設のネットワークを構築 		

施策の推進状況	【Check】施策の課題		【Action】今後の方向					
	<p>●芸術文化を体験できる機会の提供 〔分析・背景〕</p> <p>美術館等が全道各地に点在しており、道民が身近な場所で芸術鑑賞できる機会の拡充が望まれる</p> <p>〔課題〕</p> <p>道立美術館と地域の美術館等とが連携した取組が必要</p>		<p>・「アートギャラリー北海道」展開方針により構築した美術館ネットワークにより、道内美術館及び収蔵作品を紹介する企画展の開催や、道立美術館と道内美術館が連携してPR活動やイベント等を実施</p> <p>・鑑賞教育を進める上で有効な鑑賞学習用支援ツールとして、各道立美術館の所蔵作品を活用したアートカード及び指導資料等を小中学校に提供</p>					
	総合評価	定量評価	100%以上 (4点)	90~100% (3点)	80~90% (2点)	80%未満 (1点)	その他	平均
	計画どおり	計画どおり	1	0	0	0	0	4.0
計画どおり	定性評価	(定性評価)						
	—							

施策項目36 文化財の保存・活用

—●—目標値（太字）
■実績値 %…進捗率

指標の状況	②国及び北海道の指定文化財数（件）	H29目標 330件	③北海道文化財保護強調月間に文化財を活用した事業を実施している市町村の割合（%）	H29目標 50%	④アイヌ文化にかかわる講座・研修会等への参加者数（人）	H29目標 2,500人
		<p>〈文化財〉100.3%</p>		<p>〈市町村〉113.2%</p>		<p>〈参加者数〉40.4%</p>
施策の推進状況	【Plan】平成29年度の主な施策			【Do】主な実績		
	<p>■文化財の調査・保存・活用の推進</p>			<ul style="list-style-type: none"> 文化財パトロールの実施（490件（うち埋蔵文化財包蔵地248件））（文化財総数の74.9%（埋蔵文化財包蔵地及び無形民俗文化財を除く）） 未指定文化財の調査と指定・登録の推進（目標指標②） 有形文化財（建造物）の耐震予備診断の実施（20箇所中19箇所終了） 		
	<p>■アイヌ民俗文化財の調査・保存・伝承活動の推進</p>			<ul style="list-style-type: none"> 叙事詩「ユーカーラ」の翻訳整理（3冊）と報告書の作成（アイヌ関係団体、大学、図書館、博物館等へ配布） 伝承者養成等のための各種講座の開催（100回、946名（目標指標④）） アイヌ文化財専門職員等の研修会の開催（1回、66名） 		
	<p>■世界遺産登録に向けた取組の推進</p>			<ul style="list-style-type: none"> 「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録に向けた気運を醸成するためのフォーラム・パネル展の開催（全6回、苫小牧市、札幌市（5回）） 「北の縄文道民会議」と連携した札幌市地下歩行空間や道庁赤れんが庁舎での企画展やセミナーの開催 関係自治体と共同で推薦書素案の改訂・保存活用協議会の開催 構成資産（キウス周堤墓群）の保全改善と関連資産（鷲ノ木遺跡）の保存管理計画策定の指導 日本遺産の認定に係る全道調査（意向調査等）の実施 観光や地域振興など関係部局で構成する「日本遺産連絡調整会議」の設置 道内関係では、地域型で江差町、シリアル型で函館市、松前町を含む道内外の11市町の2件が日本遺産認定 申請を検討している市町村からの相談に対する助言や、H30申請市町村（新規4件、追加1件）による文化庁協議に係る連絡調整 		
	<p>■文化財に親しむ機会の提供と情報の発信</p>			<ul style="list-style-type: none"> 文化財保護強調月間における文化財公開等関連事業の促進（目標指標③） 児童生徒に地域に伝わる民俗芸能に触れる機会を提供（「ほっかいどう子ども民俗芸能振興事業」を道北・道東ブロック（7管内）で実施（民俗芸能子ども伝承講座：72回実施、成果発表：2回実施）） 保存会等による民俗芸能の積極的な公開・実演の実施に向け、北海道150年事業との連携による取組の検討 		
【Check】施策の課題			【Action】今後の方向			
<p>●民俗芸能の保存対策〔分析・背景〕</p> <p>民俗芸能の団体会員数の大幅な減少や、後継者不足などにより民俗芸能の保存が困難</p> <p>〔課題〕</p> <p>地域の民俗芸能に対する道民の理解の促進と後継者の育成が必要</p>			<p>「北海道150年事業」と連携し、「ほっかいどう民俗芸能振興事業」を実施</p>			

施策の推進状況	【Check】 施策の課題				【Action】 今後の方向			
	<p>●世界遺産登録や日本遺産の認定に向けた取組の推進〔分析・背景〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「北海道・北東北の縄文遺跡群」の推薦が見送られた。（平成25年～29年度） ・平成27年度、国において、地域に点在する文化財をパッケージ化し、文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」として認定する制度を創設 <p>〔課題〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産登録を目指している他の資産との競合 ・日本遺産の認定に向け、国の歴史文化基本構想策定技術指針に基づく、市町村の構想策定など、地域の主体的な取組の推進が必要 				<p>【世界遺産登録】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化審議会意見等に基づく推薦書案の改訂 ・世界遺産登録に向けた更なる気運醸成 ・国等への働きかけ <p>【日本遺産認定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の文化財群を一体的に活用・発信する日本遺産の認定を目指す地域の取組を積極的に支援 ・認定された日本遺産の観光や地域振興などへの活用の促進に向け、「日本遺産連絡調整会議」を通じて、知事部局担当部署へ働きかけを実施 			
	総合評価	定量評価	100%以上 (4点)	90~100% (3点)	80~90% (2点)	80%未満 (1点)	その他	平均
	概ね計画どおり	概ね計画どおり	2	0	0	1	0	3.0
定性評価		(定性評価)						
	—							